

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

10

2022 OCT.

第 233 号

学校長からのメッセージ

本校の教員杉浦さんの投稿文が、教育季刊誌「人間と教育」本年秋号（旬報社）に掲載されました。タイトルは『「きみと私は今ともにいる」ことの実践 元・通信制高校生が教員として母校に帰ってきた今思うこと』です。今月はそのことについて触れたく思います。

タイトルにある“通信制高校”は本校であり、杉浦さんは本校の卒業生でもあります。杉浦さんは高校進学時、第一志望校にまさかの不合格となり、心が折れたまま望まない滑り止めの高校へ入学しました。ですがそこではうまく行かず、その年の秋に YMCA 学院高校に転入したのです。本校は無事に卒業するのですが、全日制と違い、毎日学校に通っていないことを負い目に思ったり、社会の偏見を感じたりして、行き場のない悔しさがつのったそうです。その後大学を卒業し、京都市青少年活動センターで多様な社会的課題の事業に取り組み、「ユースワーカー」として、悩みを抱いている様々な若者と関わる中で、通信制高校生たちとの出会いがありました。やがて彼らの悩みがあの頃の自分と重なり、より身近に関わりたく「職員室にいるユースワーカーになりたい」との思いで、母校（本校）に教員として戻ってきました。

文中、杉浦さんは、「『先生』より『卒業生』として、『先生らしく』より『後輩とかかわっている』という思いを大切に過ごしている。『寄り添う』とは、『きみと私は今ともにいる』ということ。自分のことを尊重して関わってくれた大人たちに感謝して、今度は自分がそれを恐れず実践する。」と締めくくっています。

「生徒に寄り添うこと」を私たちも常に意識しています。寄り添うとは…

① 理解しようとする、わかろうと努力すること

「私のこと全然わかってない」とは、よく聞く言葉ですが、人はお互いに理解し合えたり、わかりあえたりするのは、なかなか難しいことです。だからこそ、少しでもわかろうと耳を傾けることを大切にしたいと思います。

② 「助言をしよう」と考えないこと

教員や大人たちは子どもたちより先に社会を見ていることもあって、“失敗しないように”と先回りして教えてくなったり、諭したくなったりしがちです。でも、ここはグッとこらえ、できるだけ同じ目線に立って話したいと思います。

③ 「あなたはあなたのままでいい」とメッセージを送り続けること

何より、「あなたの存在が大切、あなたがここにいることが幸せです」と、伝え続けたいのです。

いつも生徒にきちんと寄り添えているか、と自己を振り返る日々です。

(校長 鍛治田千文)

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」（ローマの信徒への手紙 12章 15節）

学校法人 大阪 Y M C A

Y M C A 学院高等学校

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町 1-3 TEL 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831



[こちらから大阪Y M C Aの機関紙「大阪青年」にアクセスできます](#)

Y M C A学院高等学校が、皆さんにとって “かけがえのない場所”となるための「3つの約束」

- | | | |
|-------------------------|--|--|
| 1) 自分を大切にします | 2) 自分と同じように周りの人を
大切にします | 3) 自分の学びをあきらめず、
自ら学ぶ姿勢を大切にします |
| ・一人で悩まず相談する
(助けてもらう) | ・周りの人の学びを大事にする
・気持ちよくお互いが過ごせるよう
に気をつける | 例えば、
・スクーリングに取り組む
・学校とつながる（情報に触れる） |

新型コロナウイルス感染防止のためのお願い

新型コロナウイルスにかかるいためには、自分の健康に気を付けることが一番です。
また、学校は多くの人が集まる場所ですので、まわりの人にも配慮し、次の1~10のことを守ってください。

1. 自宅で検温してから学校に来てください。37.5度以上あるときは通学できません。
学校の入り口で、検温と消毒を必ずしてください。
2. 少しでも体調が悪いときは、学校に電話をして、無理せず休んでください。
休んだスクーリングについては、後で担任より連絡します。
3. マスクは必ずつけてください。マスクをしていないとき、37.5度以上の発熱があるときは学校には入れません。
4. 必ず、手洗い・消毒をしてください。（学校に入る時やトイレの後、食事の前は消毒液を使ってください）
5. 校内で食事をするときは、人と向かい合わないように、静かに食べてください。
6. 毎朝、机と椅子の消毒作業を行っています。必要な時はいつでも教室にある消毒液とペーパータオルを使ってください。
7. できるだけ人から1メートル以上の距離を取ってください。
8. 階段を使ってください。エレベーターに一度に乗れるのは4人までです。
9. 休み時間は大きな声を出さず、ふつうの声で話してください。
10. 感染したり、濃厚接触者になったらすぐに学校に電話してください。また、心配なことや不安なことがあれば、学校に連絡してください。

【重要】日常生活で気をつけてほしいこと

みなさんが外出する際は、事故や犯罪に巻き込まれず、安心・安全な生活を送るため、次のことを常に心がけてください。

- ①出かけるときは「どこへ・だれと・いつまで(帰宅時間)・用件」を保護者(家族)に伝えてください。
- ②法律を必ず守って行動してください(特に無免許運転、喫煙、飲酒、その他未成年禁止事項は絶対にしないでください)。
- ③時間に余裕を持って行動してください(いそがない、あせらない、無理をしない)。
- ④必要な人への報告・連絡・相談をこころがけてください(保護者や学校の連絡先を確認しておいてください)。
- ⑤命はひとつだけです。安心・安全をいつも心がけるようにしてください。

みんなの健康と平安、そして豊かな成長を心より祈っています。

開校20周年記念礼拝・記念発表会のご案内（再案内）

～今の高校生が考えていること～

YMCA学院高等学校は2002年に開校し、今年で20周年を迎えました。これまでのYMCA学院高等学校の歩みをふりかえり、これからの中高生をみんなと作り上げていきたいと考えています。

20周年を記念し、下記の内容にてプログラムを催します。生徒のみなさんにも参加してもらえる内容となっています。参加希望の方は、下記リンクから申込をしてください。

□日 時 2022年10月9日(日)14:00～16:30 (*受付開始：13:30～)

第一部：記念礼拝

内 容：20周年を節目とし、牧師からメッセージをいただきます

第二部：メッセージ「今の高校生の考えていること、高校生が描く未来」

内 容：YMCA学院高校の特色、在校生のリアルな声を聞いてみませんか？

第三部：「在校生チャレンジ☆」日頃の自分の活動や趣味を発表しよう！

内 容：演奏やダンス、イラスト、絵画など、みんなの個性を持ち寄り、

十人十色の“きらめき”で、YMCA学院高校らしさを表現します☆

□場 所 大阪YMCA会館 2階ホール（大阪市西区土佐堀1-5-6）（オンラインでの参加も可能）

□対 象 在校生・保護者・教育関係者

□定 員 150名（ボランティア参加者含む）

□申 込 下記のリンクよりお申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc4g2hLdhlt3l-LfrhIOF71kL0rks_fZlbjlioW4TWIGDhm6A/viewform?usp=sf_link

一般社団法人「ひらく学校」のご案内

「ひらく学校」とは、奈良県の生駒やYMCA学院高等学校の教室等で行う『体験型』の実習スクールで、さまざまな職種との出会い、進路について向き合える時間や、自分自身の感性を「楽しむ」「ひらく」時間を大切にしています。YMCA学院高等学校は、生徒一人ひとりと丁寧に関わる学校づくりとともに、地域に開かれた学校づくりをすすめています。本校の非常勤講師である、町矢真美さんの立ち上げた一般社団法人『ひらく学校（2022年春より）』と連携し、子どもたちの豊かな成長を応援していきます。10月以降も随時イベントを実施しています。ぜひ、ご参加ください。（在校生は特別活動認定されるものもあります。）

ひらく学校LINE公式アカウントより申し込んでください。

（Line ID@957kuwcsに登録後、メッセージください。メッセージは、ひらく学校にのみ届きます）



【第2回】健康に不安をかかえる生徒と保護者のつどい

本校には、起立性調節障害（OD）や睡眠障害など、健康に不安をかかえる生徒が多く在籍しています。そのような生徒が安心して高校生活を送ることができるように…、またそばにいる保護者が安心して子どもと共に歩んでいくことができるよう…という思いで、定期的に“健康のつどい”を実施しています。

□日 時 2022年10月29日（土）14:00～16:00

□場 所 YMCA学院高等学校 2階（オンラインも同時開催）

□内 容 保護者のつどい／生徒のつどい

☆全体で、小児科助教 柳本嘉時先生（関西医科大学総合医療センター）の
ミニ講演・質疑応答を予定しています。

☆保護者のつどい・生徒のつどいでは自由なわかつあいの時間をもちましょう。

□担 当 池田・二宮・横山

□申 込 下記のリンクよりお申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdCLKq1Z2oWeL6XfM1ri88QEKBreQyckcihbNeFxBJKTh-gQg/viewform>

【後期】オンラインでの身体づくりプログラム

健康に不安をかかえる生徒たちが、オンラインを通じて同じ症状を持つ仲間とウェアラブルデバイスとゲームアプリを用い、自宅に居ながら継続して体を動かすことにより症状の改善に取り組みます。

□期 間：2022年10月13日（木）～2023年2月16日（木） 16:45～17:45

□定 員：20名（先着順）最少催行人数5名

□対 象：全講座への受講意思がある生徒 ※体調不安のある生徒はその都度、気軽に相談できます。

□費 用：無料 *本校生徒は大阪府教育庁からの助成により無料となります。

□申 込：下記のリンクよりお申し込みください。

<https://forms.gle/PWZ5DAo2uN9G4uw77>

スケジュール

回 数	日程（毎木曜日）	内 容	段 階
1回目	10月13日	接続確認/顔合わせ/アンケート	
2回目	10月20日		1st ステップ
3回目	10月27日	レクリエーション・ストレッチ	・レクリエーションでリラックス
4回目	11月10日	ゲームアプリを用いた自宅トレーニング	・座位でのストレッチ・運動 ・自分に合ったペースの運動
5回目	11月17日		
6回目	11月24日	椅子を使った運動	
7回目	12月1日	自重によるレジスタンストレーニング※1	2nd ステップ
8回目	12月8日	※1筋肉に刺激を与え繰り返し行う運動	・座位や立位でのストレッチ・運動
9回目	12月15日	ゲームアプリを用いた自宅トレーニング	・活動量増進① ・下肢筋力向上
10回目	12月22日		
11回目	1月12日	椅子を使った運動	
12回目	1月19日	自重によるレジスタンストレーニング	3rd ステップ
13回目	1月26日	タバタ式下肢トレーニング	・継続的な運動
14回目	2月9日	コグニラダーによるトレーニング	・下肢筋力の向上
15回目	2月16日	ゲームアプリを用いた自宅トレーニング	・コグニラダーによる全身運動と 適度な認知課題への取り組み

*体調の思わしくない時は無理をせず、休憩をとるなど、自分のペースで参加することができます。

教務部からのお知らせ

レポート集・時間割・教科書を送ります

□後期の講座登録がおわったみなさんには、10月7日（金）に以下のものを学校から送ります。

- ①レポート集
- ②生徒別時間割表
- ③レポートバーコード
- ④返信用封筒

※教科書は、教科書販売株式会社より、宅配便で送ります。

□送られてきたものに間違いや足りないものがあったときは、10月21日（金）までに学校に連絡してください。

この日をすぎると、再発行料がかかる場合があります。

□レポート集や教科書が届いていない場合も、スクーリングには出席してください。

教科書は貸し出しできるものがあります。

レポートを提出する方法

□各レポートには、必ずバーコードシールをはって提出してください。

(バーコードシールは、レポートの「回数番号」と同じものをはってください。)

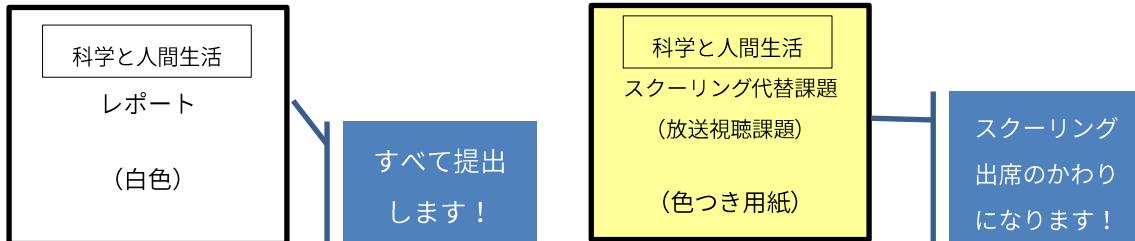
□レポートの提出期限を必ず守ってください。

レポートの最終締切日：2022年12月20日（火）17時（郵送は当日消印有効）

「スクーリング代替課題（放送視聴課題）」について

□何らかの理由でスクーリングに出席できない人、学校に来ることが不安な人は、「スクーリング代替課題（放送視聴課題）」（色つき用紙）を利用してください。この課題を1枚作成することで、1時間のスクーリング出席のかわりになります。どの講座も、必要なスクーリング出席時間の最大60%まで「スクーリング代替課題」を提出できます。

(例)



□「スクーリング代替課題」のバーコードシールは、[●代替課題1]のように、印刷されています。

はり間違えないように注意してください。

□代替課題レポートは、一階エレベーター横のBOXに講座別に置いています。必要なものだけ取ってください。

自分のスクーリング出席とレポート提出の記録を見よう！

□みなさんは自分のスクーリング出席やレポート提出の記録を、スマホやパソコンの「マイページ」で見られることを知っていますか？

「マイページ」 ログインID：学籍番号

パスワード：（入学後みなさんに渡しています）

※パスワードを書いた用紙をなくした人は職員室で聞きましょう。



こちらをクリック



□学校から送る「学習状況報告」でも確認することができます。

「学習状況報告」は11月15日(火)に送る予定です。学期中に一度のみの発送のため、出席状況の管理に注意してください。未提出のレポートは、早めに提出するようにしましょう。

進路支援からのお知らせ

「調査書」「推薦書」の発行について

- 大学・短期大学・専門学校に出願する際は、高校が発行する「調査書」が必要です。
各学校の出願に必要な書類および出願期間を確認し、「調査書」が必要な人は、必ず担任を通して早めに申し込んでください（申し込みから発行まで、1週間かかります。1通300円）。
- 発行希望日の2週間前までに記載事項を学校に報告してもらう必要があります。詳しくは9月22日（木）に再送信したさくら連絡網で確認、または担任まで尋ねてください。
- 2022年度前期の成績が入った「調査書」は10月3日（月）から発行できます。
- 「推薦書」が必要な場合は、作成に1週間ほどかかりますので、余裕をもって担任まで申し込んでください。

公募制推薦入試について（『それぞれの未来へ』P.4 参照）

- 受験枠を特定の高等学校に限定しないものが「公募制推薦」です。受験校側の出願条件を満たし、なおかつ高校の推薦条件を満たせば、誰でも出願できる推薦入試制度です。
- 本校の公募制推薦の基準は、「卒業年度前期終了時点で54単位以上修得していること」です。
- 選考方法は、学校によって異なりますので、志望校の受験要項を確認してください。

全年次対象 「職業理解ガイダンス」

大学や専門学校の先生をお招きして、体験型の進路ガイダンスを行います。

申し込みは、下記 URL や QR コードからお願いします。

- 日 時 10月21日(金) 第1部：15:30～16:20／第2部：16:30～17:20
- 特別活動 2時間認定
- 参加分野 ①建設 ②情報・CG・ゲーム ③理容・美容 ④教育・保育 ⑤福祉 ⑥スポーツ・健康
⑦声優 ⑧デザイン・美術・アニメ ⑨医療 ⑩ホテル・観光
- 申込 <https://forms.gle/r8dkAWCQAWMz7caA9>
(申込期限 10月7日(金) 12時まで)



[<こちらをクリック>](#)

※職業について理解を深めるため、1分野だけでなく2分野の説明を受けてください。

※希望した分野を優先しますが、希望人数が多い分野は受けられることもあります。

※特別活動の認定は、2分野受けた場合は2時間、1分野だけ受けた場合は1時間です。

就職 <3年次生対象>

今年度新型コロナウイルスによる景気減退が収束の見込みのため、本年度より高校求人開始の企業が増えています。

求人票閲覧、応募前見学を積極的に行ってください。

二次募集の会社からも求人票が届き始めています。今から就職活動を行うことは可能です。

《学校紹介で就職する場合》

- 求人票の閲覧は7月1日(金)から始まりました。また二次募集の会社からも求人票が届き始めています。
- 今から就職活動を行うことは可能です。職員室で担任もしくは進路担当者まで申し出てください。
- 就職活動に必要な書類を配付します。関心のある会社があれば応募前職場見学に参加するようにしてください。
- 応募は9月5日(月)からはじまっています。同時に2社まで応募することはできます。
- 就職活動では、就職希望票＆誓約書を提出していただく必要があります。

※就職希望者は就職担当者（竹野）まで申し出てください。

- 企業が複数応募可にしているところは2社まで申し込むことができます。（本年度より1人2社制開始）
- 内定を受けると辞退することができません。応募の際に慎重に考えてください。
- 応募前見学や履歴書は標準服やスーツ、それに準じた服装が必要になります。各自用意をしておいてください。
- 履歴書の写真横3cm×縦4cmが必要となります。各自で用意してください。
(服装は標準服やスーツ、それに準じた服装)
- 就職も調査書（1通300円）が必要です。調査書完成日に合わせて担任に履歴書を提出して下さい。
- 求人票の閲覧は担任、もしくは就職担当者に時間を予約して来校してください。
(タブレット、ID、パスワード用意します)

生徒支援からのお知らせ

カウンセリングスペース

- 下に書いてある期間にカウンセリングを受けることができます。現在金曜日の予約が込み合っています。
利用希望の方は担当の藤原まで相談をしてください。

- 10月の開室日：(月曜日) 10月17日・24日・31日
(水曜日) 10月5日・12日・19日・26日
(金曜日) 10月14日・21日・28日

※上記の日程で予約が取れない時間帯もあります。予約する際、相談してください。

- 時間：14:00～16:50 (内50分)
- 担当：藤原 未帆 (FUJIWARA, Miho)
- カウンセラー：月曜日／川野敬子 (KAWANO, Keiko)
水曜日／芝原かつら (SHIBAHARA, Katsura)
金曜日／道嶋公子 (MICHIJIMA, Satoko)

特別活動

- 卒業するためには、特別活動に30時間以上参加しなければいけません。
くわしい内容は、「さくら連絡網」を読んでください。
参加の申し込みは「さくら連絡網」で送られるURLからできます。

特別活動	日 時	場 所	特別活動 になる時間
進路支援部 主催のガイダンス	「進路支援からのお知らせ」を見てください		
バイブルアワー	10月6日(木) 15:00-15:30 10月14日(金) 16:00-16:30 10月20日(木) 15:00-15:30 10月28日(金) 16:00-16:30	学 校 & オンライン	2回出席で1時間

次の活動も特別活動になります。

特別活動	学校に提出するもの、注意すること
大学・短大・専門学校等の オープンキャンパス	① 申請書（職員室にあります） ② オープンキャンパスでもらった資料や担当者の名刺 (オンラインで参加した人は、参加したことがわかる画像)
企業説明会	① 申請書（職員室にあります） ② 企業説明会でもらった資料や担当者の名刺（オンラインで参加した人は、参加したことがわかる画像）
映画・アートをみよう ～校外芸術・映画鑑賞～	① 申請書（職員室にあります） ② チケット半券またはDVDレンタルのレシート (インターネットでみた人は、みたことがわかる画像) 注意：一つの映画・展覧会で特別活動2時間です。18時間まで認定。 本校ホームページの『特別活動(校外芸術・映画鑑賞)』にのっている映画・展覧会を鑑賞してください。
<u>『特別活動(校外芸術・映画鑑賞)』 (2022年10月)</u>  <u><こちらをクリック></u>	<u>『特別活動(校外芸術・映画鑑賞)』過去リスト (2019年～2022年9月)</u>  <u><こちらをクリック></u>
	<u>『特別活動(校外芸術・映画鑑賞)』 (2019年以前の全映画リスト)</u>  <u><こちらをクリック></u>

事務室からのお知らせ

2022年度後期学費の納入について

2022年度後期学費納入案内については、10月21日（金）に学校から郵送予定です。

納入期限日：11月9日（水）

学費の納入期限の延期（延納）、または、分割納入を希望する場合の手続きの詳細については納入案内に記載しています。

進学・就職等に必要な証明書発行手続きについて

「証明書発行願（進学用・就職用）」の記入前に、必ず担任と相談してください。

特別な事情が無ければ①窓口申込で証明書発行の手続きをしてください。

担任と相談が済んでいて、事情がある場合は②郵送申込も可能です。

※電話・FAXやメールでは申し込みできません。

証明書発行までに1週間かかります。下記の表を確認して手続きしてください。

①窓口申込：受験予定校の願書・募集要項を持参して担任と相談後、「証明書発行願（進学用・就職用）」を記入してください（保護者の署名と押印が必要です）。

記入後の書類に担任の確認印をもらってから職員室へ手数料を添えて申し込んでください。

②郵送申込：『学務の手引き 2022 年度版』(P.39) の「証明書発行願（進学用・就職用）」をコピーして記入押印し、手数料と返信郵送料の合計料金分の郵便切手を同封して郵送してください。

※郵便が届いた日が受付日となります。

発行に時間がかかりますので、余裕をもって申し込んでください。

手数料 発行日	種類	申込用紙	通常		英文発行	
			手数料	発行日	手数料	発行日
成績・単位修得(見込) 証明書 調査書 推薦書	証明書発行願 (進学用・就職用)		300 円	受付から 1週間後 (土日祝除く)	300 円	受付から 1週間後 (土日祝除く)
			500 円		1,000 円	

返信郵送料	証明書の枚数	郵送料(普通)	速達料金
1~2通まで 3~5通まで 6~10通まで	1~2通まで	84円	+260円
	3~5通まで	94円	
	6~10通まで	140円	

レポート等の再発行について

レポート等、配付済みの書類を紛失した場合は再発行が可能です。「レポート等諸用紙発行願」に必要事項を記入して発行手数料を添えて、再発行の手続きをしてください。

種類	手数料	申込用紙	発行日
通学割引証申請カード・ケース	100円		受付から3日後
レポート（再発行）1枚	50円		
レポートバーコード 1シート	100円	レポート等 諸用紙発行願	即日
時間割（個人用）	100円		
レポート提出用封筒 1枚	10円		

通学割引証の発行について

本校への通学の際には、交通機関の通学用割引回数券が利用できます。回数券の残数が少なくなったら、「通学割引証申請カード(ケース入り)」を職員室のカード回収ボックスへ提出して「通学割引証」の発行申請をしてください。「通学割引証申請カード(ケース入り)」は毎回申請時に提出が必要ですので、卒業まで大切に使用してください。

「通学割引証」の有効期限は1ヶ月です。期限内に駅の発売所で回数券を購入してください。その際必ず「通学割引証」をケースから出し、生徒証明書を提示してください。

詳細は、『学務の手引き 2022 年度版』(P.28) をよく確認してください。

(注意事項) ※通学用割引回数券は通学以外の目的による使用や本人以外の使用は認められていません。

※割引証の申請は年間 40 回までです。

※割引証の有効期限が切れてしまった場合は職員室にて期日を訂正します（訂正是 1 回限り）。

通学定期券について

□講座登録や各コースなどの申し込みにより、週 5 日通学することになった生徒に限り、JR と大阪メトロ（地下鉄・バス）の通学定期券の購入が認められています。

(私鉄の各交通機関については通学定期券の購入はできません)

該当する人で、通学定期券購入を希望する場合は、所定の申込用紙を職員室へ提出してください。

時間割等を確認して、定期券購入に必要な通学証明書を発行します。（スクーリング期間中のみ）

阪神電車の回数券終了について

□阪神電気鉄道株式会社では 2022 年 9 月 30 日（金）で回数券の発売を終了しました。

すでに購入している回数乗車券は、回数券に書いている有効期間満了まで使うことができます。

詳しくは阪神電気鉄道株式会社のホームページを確認してください。 ⇒⇒⇒



[<こちらをクリック>](#)

住所等変更手続きについて

□住所や電話番号などが変わったときは、すぐに①～④の手続きをしてください。

①「各種変更届」に必要事項を書いて、保護者の印鑑を押して職員室へ提出する。

※「各種変更届」は、職員室にあります。

②生徒証用の写真を職員室に提出する。（新しい生徒証を発行します。）

③手紙などの郵便物が新しい住所に届くように、郵便局に転居届を出す。



QR コードから、インターネットで転居届を出すこともできます ⇒⇒⇒

[<こちらをクリック>](#)

④通学経路が変わる場合は、①の「各種変更届」と一緒に「通学割引証申請カード」を提出する。

※プラスチックのケースに入っている「通学割引証申請カード」を新しく発行します。

（発行には 2 日かかります）

各種奨学金、給付金について

□現在募集中の奨学金について下の表に記載しています。

※各種奨学金・給付金によって、所得の制限や成績など、申し込みの条件が違います。募集要項や申請書類を確認して申し込んでください。

※予算枠や申請条件がある奨学金等は、申請しても採用にならないことがあります。

【在学募集】（高校在学中に給付・貸与される奨学金）

A. 学校をとおして申込むもの

	名 称・内 容・金 額	ホームページ	申込締切日
貸与	京都府高等学校等修学資金貸与制度（無利子貸付） (対象) 親権者が京都府内に居住し、世帯全体の所得が京都府の定める基準額に該当する方であること等 (貸与) 月額 30,000 円以内 (貸与者) 京都府 (振込時期) 申請時期による ◆書類は学校で受取	 <コチラをクリック>	随時

貸与	<p>滋賀県奨学資金 (対象) 保護者が滋賀県に居住し、経済的理由のために修学が困難な生徒 (貸与月額) 30,000円～35,000円 ※予算の範囲内で随時貸与されるため、予算が無くなった場合は貸与や募集を中止することがあります。 ◆書類はHPより各自請求 ⇒</p>	 <コチラをクリック>	随時
給付 + 貸与	<p>一般財団法人 あしなが育英会 (対象) 保護者が病気や災害、自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の生徒。 (月額) 貸与 30,000円+給付 20,000円 ◆書類はHPより各自請求 ⇒</p>	 <コチラをクリック>	3次募集： 12月15日(木)
給付	<p>公益財団法人 阿部育英基金 (対象) 1年次生で、履修科目の評定平均が3.5以上、16単位以上の修得が見込まれ、校長が推薦する方 (月額) 給付 10,000円 (募集人数) 全国で25名程度採用 (校内推薦は1名を予定) ※応募前に必ず担任の先生に相談してください。 ※校内選考を行いますので締切日時に遅れた書類は受理しません。 ※校内選考では前期の成績やスクーリング出席状況を校長推薦の判断材料とします。 ※申込書の記入事項が多いので、記入ミスが無いよう丁寧に準備してください。なお、家庭事情についての作文があります。 ※申込には推薦手数料500円が必要です(不採用でも返金できません)。 ◆書類は担任に相談後に学校(事務室)で受取</p>	 <コチラをクリック>	10月14日 (金) 17:00 期限厳守

B. 各自が直接、奨学金取扱い窓口へ申し込むもの

	名 称・内 容・金 額	ホームページ	申込締切日
貸与	<p>公益財団法人 交通遺児育英会奨学生(無利子) (対象) 保護者等が道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障がいのために働けなかったりして、経済的に修学が困難な生徒 (貸与) 月額 20,000円、30,000円、40,000円から選択 ※他の奨学金制度と併用可 ◆書類はHPより各自請求 ⇒</p>	 <コチラをクリック>	随時 2023年1月31日が最終期限

【予約募集】3年次生対象(大学や専門学校等に進学後に給付・貸与が始まる奨学金)

	名 称・内 容・金 額	ホームページ	申込締切日
給付 + 貸与	<p>日本学生支援機構 2023年度大学等入学者奨学生予約採用 (対象) 3年次生で大学や専門学校に進学を希望している方 ※スカラネット入力は10月7日(金)から始まります。 ※予備回が高校在学中に最後の手続きの機会です。 手続きは進学先へ入学後も可能です。 ◆書類は学校で受取</p>	 <コチラをクリック>	予備回募集： スカラネット入力 10月21(金) 学校提出書類 10月28(金)

給付	<p>はばたけ！ゴールドリボン奨学金 (対象) 3年次生で、18歳未満でがんと診断され治療を受けた人、又は現在治療中の人。(家計基準あり) (募集人員) 10名程度 (給付月額) 40,000円 (交付時期) 対象となる大学等に在学中の期間 ※毎年4期に分けて支給 ◆書類はHPからダウンロード</p>	 <コチラをクリック>	10月14日(金)
貸与	<p>あしなが大学奨学金 (対象) 2023年4月に大学または短大の第1学年に進学を希望している高校3年生。 保護者が病気や災害、自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の生徒。 (月額) 貸与40,000円または50,000円 (募集人数) 全国で300人程度 ◆書類はHPより各自請求 ⇒</p>	 <コチラをクリック>	10月20日(木)
貸与	<p>あしなが専修・各種学校奨学金 (対象) 2023年度に専修学校等へ進学を希望している高校3年生。 保護者が病気や災害、自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の生徒。 (月額) 貸与40,000円 (募集人数) 100人 ※上のあしなが大学奨学金と同時に申請はできません。 ◆書類はHPより各自請求 ⇒</p>	 <コチラをクリック>	10月20日(木)
給付 + 貸与	<p>公益財団法人交通遺児育英会奨学生(無利子) (対象) 2023年4月に大学・短大に進学予定の方 保護者等が道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障がいのために働きなかったりして、経済的に修学が困難な学生 (貸与) 月額4万円、5万円、6万円から選択 (うち2万円は給付) ※他の奨学金制度と併用可 ◆書類はHPより各自請求 ⇒</p>	 <コチラをクリック>	随時 2023年1月31日が最終期限

さくら連絡網登録のお願い

□さくら連絡網をまだ登録していない人は、すぐに登録をしてください。学校からの大切な連絡が届きます。
 登録方法がわからないときは担任に相談してください。



今月の聖句

「神の僕（しもべ）、イエス・キリストの使徒パウロ」

（テトスへの手紙 1章1節）

今回は新約聖書の「テトスへの手紙」の冒頭の言葉からメッセージをお届けいたします。この手紙はパウロからテトスという人に宛てて書かれたものです。パウロという人は、イエスの教えを当時のヨーロッパ各地に伝える働きをしました。そのパウロの働きによってキリスト教が全世界へと広がっていくことになったのです。ですから、今私たちがこの日本においてイエスの言葉や教えを知ることができるのは、元をたどっていけばパウロの働きのおかげだということなのです。そのパウロがこの手紙を書くにあたって、まず自己紹介をしているのがこの聖書の箇所です。彼は自己紹介をするときに、「神の僕、イエス・キリストの使徒」というふうに書いています。私たちの感覚からすれば、ちょっと変わった自己紹介かもしれません。私たちが自己紹介をする時、たいていは人との関わりの中での立場を思うのではないでしょうか。パウロであれば、「ヨーロッパ各地にキリスト教を伝えておりますパウロです」とか、「コリントやエフェソなどで教会を建てさせていただきましたパウロです」というような自己紹介が一般的ではないでしょうか。

けれどもパウロにとって第一に大切にしたいことはそういう自分の功績などではありませんでした。自分が神様から守られていて、必要とされているということが何よりも大事なことだったのです。この時代に生きる私たちにとっても同じです。地上での功績や学歴、資格、立場など様々なものを自己紹介として使えるでしょう。けれども、そういうものがあってもなくても「私は神様に守られ、必要とされている〇〇です」ということは、胸を張って、感謝の気持ちを込めつつ、誰にでも言えることだということを覚えておきたいと思います。

（福島 義也牧師 日本基督教団河内長野みぎわ教会）

